

平成21年度 事業報告書

平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業の成果

平成21年度は、法人の定着化を前提に置き、事業を絞って実施した。その内容としては、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として企画されている全国高専プロコンの共催、および国際プロコン大会への海外チームの招聘、初の産学による交流促進事業を行った。また、設立2年目の運営として、運営部会と事務局による管理体制の確立に努め、更なる普及啓発などを実施した。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (共催)	10月17日 ～ 10月18日	千葉県 木更津市	20名	全国高専からの コンテスト 出場学生・教員 及び産業界から の参加者一般 市民など約 920名	13,933
国際コンテス ト運営事業	国際プロコン大会開催	10月17日 ～ 10月18日	千葉県 木更津市他	6名	国外からの 参加学生・教員 17名	4,039
高専プロコン 促進事業	情報産業界と高専教育界の連 携を図るためのシンポジウム の開催	8月28日	長野県 長野市	4名	高専教職員及 び情報系企業 参加者など約 140名	75
普及啓発事業	ホームページによる交流活動 の啓蒙	随時	法人事務局	2名	会員および学 生など不特定 多数	0

平成21年度事業報告（第2期総括）

2008年夏に当法人設立、2009年度は第2期を迎え、各事業企画立案やコンプライアンス、アカウンタビリティ、会議体の運営・会計など管理業務の基盤整備について関係者と適時に協議を交えながら事業を推進致しました。

世界的な経済不況の中で厳しさが予想されましたが、各企業・団体・機関のご協力ご賛同を得られ、結果的に事業収入は計画比96%を達成し、ひとつの目標として掲げていました「国際プロコン大会の開催」事業を円滑に推進することができました。

主な事業活動

【 高専プロコン運営事業 】

- ▶ 6月27日 予選審査会 東京都「田町CIC」
- ▶ 10月17日-18日 本選 千葉県木更津市「かずさアカデミアホール」

部 門	第20回(2009年)木更津		第19回(2008年)福島	
	チーム数	参加校数	チーム数	参加校数
本選参加者	913		1134	
参加学生	375		369	
引率教員	105		86	
大会役員・高専関係者	36		44	
後援団体・来賓	8		15	
協賛企業	37		53	
審査委員	21		28	
プロコン委員	24		24	
一般来場者	86		320	
主管校教職員	114		100	
主管校補助学生	107		95	
応募数	155	60	146	60
課題部門	44	36	41	34
自由部門	52	41	47	34
競技部門	59		58	

※例年より新型インフルエンザの影響で例年より一般来場者数は減少。

部 門	主な受賞	高専名
課題部門	文部科学大臣賞最優秀賞	東京高専
	優秀賞	鈴鹿高専
自由部門	文部科学大臣賞最優秀賞	香川高専詫間キャンパス
	優秀賞	沼津高専
競技部門	文部科学大臣賞	大阪府立高専
	準優勝	一関高専

【 国際プログラミングコンテスト運営事業 】

- 10月17日-18日 本選 千葉県木更津市「かずさアカデミアホール」
 参加海外チーム：ハノイ国家大学
 大連東軟情報学院
 モンゴル国立大学
 国立聯合大学

部 門	主な受賞	高専名
課題部門	Grand Prize	東京高専
	Second Prize	鈴鹿高専
競技部門	Champion	大阪府立高専
	Second Prize	一関高専

【 産学連携事業 】

- 8月28日 第1回 NAPROCK 産学連携シンポジウム「長野市生涯学習センター」
 テーマ : 情報産業界で働く楽しみを知る
 司会 : NPO 法人 桑原理事
 パネリスト : 株式会社オプティム
 (五十音順) 株式会社トヨタコミュニケーションシステム
 ネクストウェア株式会社
 株式会社ブロードリーフ
 マイクロソフト株式会社

【 広報活動事業 】

- 5月 ホームページに理事紹介・メッセージの公開
 ➤ 8月 第1回 NAPROCK 国際大会専用ホームページ公開 (図1)
<http://www.naprock.jp/IntProcon/>
 第1回 NAPROCK 産学連携シンポジウムの公開
 ➤ 10月 プロコン本選に伴う結果の公開
 ➤ 11月 各報道機関によりプロコン記事掲載 (別紙リストご参照)
 適宜、コンテンツの更新 (第1回国際プロコン大会学生レポートの公開)
 ➤ 12月 プロコン公式サイト(www.procon.gr.jp)のプロバイダ契約修正

(図1)



最後に、会員の皆様はじめ多くの方々にご理解とご支援をいただき、それぞれの事業を推進することができたことを心から感謝申し上げますと共に、更なる事業取り組みへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

